

# 第16回 開発・技術マネジメント 革新大会



## 『技術』が経営をドライブする ～RD&E革新による事業成長、技術・組織基盤強化～

開発・技術マネジメント革新大会は、毎年約300名の方々に参加いただき、今回が16回目になります。

今年も、『技術』が経営をドライブするを基本テーマとし、世界No1への挑戦、技術の用途探索、グローバル開発マネジメント、技術基盤・業務基盤の強化、組織活力革新等のRD&E分野での革新事例紹介をもとに、ご参加の皆様とRD&Eマネジメントのあり方について、相互に交流していきたいと考えております。

本大会は、「変えること」に本気な人、革新の当事者、変革の矢面で闘う人が集い交流する場です。RD&Eマネジメント革新の志をお持ちの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催  
日時

2012.6.14 (木)  
10:00～18:30 (受付9:30～)

会場

東京コンファレンスセンター・品川

主催

株式会社日本能率協会コンサルティング

プログラム

10:00～10:20	開催にあたり
10:20～12:00	基調講演:スーパーコンピュータ「京」 - 10ペタフロップスへの挑戦-
13:00～14:50 ◇午後Ⅰ部	【A-Ⅰ】中性子吸収材 <b>MAXUS</b> <sup>®</sup> の開発について 【B-Ⅰ】中国における研究開発拠点の課題 【C-Ⅰ】自律成長型組織を目指して
15:10～17:00 ◇午後Ⅱ部	【A-Ⅱ】未然防止型ものづくりと技術人財育成 【B-Ⅱ】空洞化を生き抜くためのIT活用術 【C-Ⅱ】分析会社の生産性向上を目指した組織力強化
17:10～18:30	参加者交流会

## 開催にあたり

円高、デフレ、新興国の台頭等、日本の製造業を取り巻く環境は過去に無く厳しい状況にあります。「日本のものづくりはもう駄目だ・・・」という声を聞くこともあります。科学技術立国として世界を牽引した日本のものづくりの復権に向けて我々は何をすべきでしょうか？

日本の技術者が持つ技術開発に対する真摯な態度と「こだわり」を、我々はコンサルティング現場で体感しています。日本にはオンリーワン技術を創出する風土、能力があると確信しています。この技術を活かして世の中のために貢献することが、技術者に求められています。

技術が経営をドライブするとは、技術至上主義ではなく、優れた技術を生み出し、その技術を活用し、魅力的な価値を世の中に創出するマネジメントであると考えています。改めて技術が持つ可能性に着目し、その貢献のさせ方について本大会参加者の皆様方と交流し、ディスカッションして参りたいと思います。



RD&Eマネジメント革新センター センター長 鈴木 亨

### RD大会とは

開発・技術マネジメント革新大会（RD大会）は、RD&Eマネジメントの新潮流を皆様とともに研究すべく、JMAC日本能率協会コンサルティングRD&Eマネジメント革新センターが企画・主催し、今年で16回目を迎えます。

### JMAC RD&Eマネジメント革新センターとは

JMACは、1950年代後半から、研究開発・開発設計・生産技術領域（略称：RD&E）のコンサルティング活動、調査研究・出版・セミナーなどを行い、産業界の発展に寄与すべく努力してまいりました。

RD&Eマネジメント革新センターは、国・業界・業種を越えて、研究開発、設計、技術に関する経営革新を推進するプラットフォームです。研究開発・技術開発活動の社会的役割と期待に応えるための諸活動の推進の中核機関となることを標榜しています。

## 午前 共通セッション（10:20～12:00）

講演時間および内容は変更の可能性がございます。

### 基調講演

## スーパーコンピュータ「京」 -10ペタフロップスへの挑戦-

富士通株式会社

次世代テクニカルコンピューティング開発本部

本部長 追永 勇次 氏

理化学研究所と富士通が共同で開発したスーパーコンピュータ「京」は、世界で初めて10ペタフロップスを達成しました。

その性能は、最先端の製品開発、医療・新薬開発、防災・地球環境問題、新エネルギー・新材料開発や宇宙解明など、画期的な社会貢献と夢の実現が期待されています。「京」は10ペタフロップスの壁を越えるため、これまでのスーパーコンピュータに類を見ない8万8千以上のCPUから成る超並列システムとして実現されました。

本講演では、スーパーコンピュータの歴史と超並列システムを概観しながら、富士通で「京」の開発指揮を執ってきた立場からその取り組みについて紹介します。



\*「京」は理化学研究所が2010年7月に決定した「次世代スーパーコンピュータ」の愛称です。

#### 略歴

1974年富士通株式会社入社

2000年コンピュータ事業本部第三コンピュータ事業部長

2003年サーバシステム事業本部技師長

2007年次世代テクニカルコンピューティング開発本部技師長兼システム開発統括部長

2011年より同開発本部長

大型汎用計算機およびスーパーコンピュータのアーキテクチャ及びハードウェアの開発に従事。

現在、次世代のスーパーコンピュータの開発を推進している。

## 午後セッション

午後セッションは、2部制になっております。それぞれ、A～C3つの講演の中から、ご興味ある講演を1つお選びください。組み合わせは自由となっております。お申込みが多数となり会場の定員に達した場合、セッションへのお申込みを締め切らせて頂く場合がございます。講演時間および内容は変更の可能性があります。

### 午後Ⅰ部 (13:00～14:50)

▼下記セッションからいずれか一つをお選び頂き、お申込みください

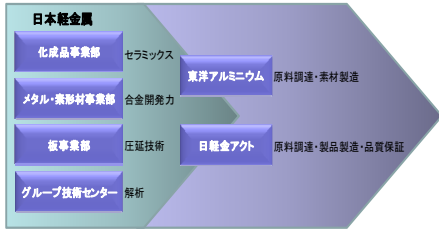
#### A- 商品・事業革新セッション

### 中性子吸収材 **MAXUS**® の開発について

日軽金アクト株式会社 MAXUSビジネスユニット  
ビジネスユニットリーダー 山崎 俊明 氏

日本軽金属グループでは、営業・開発・製造に携わる全員が開発マインドを持ち、アルミ総合一貫メーカーとしての強みを活かして時代の要請に応える新たな技術や商品の開発を進めております。

本セッションでは、前述の活動を通じて上市した商品「中性子吸収材 MAXUS(マクス)」における取り組みをご紹介します。



### 午後Ⅱ部 (15:10～17:00)

▼下記セッションからいずれか一つをお選び頂き、お申込みください

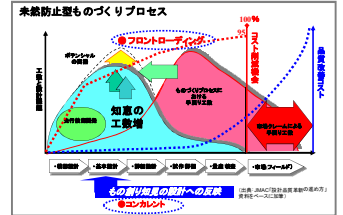
#### A- 研究・開発・設計部門の基盤強化セッション

### 未然防止型ものづくりと技術人財育成

TOTO株式会社 もの創り技術グループ  
中央技術センター兼もの創り人財育成センター 所長 関 昭義 氏

弊社のものづくりは創業の志である「良品の供給、需要家の満足」を原点とし、「人づくり」を通じて代々継承されてきましたが、1990年代に多機能化や短サイクル化など商品を取り巻く環境が大きく変化する中でバブル崩壊後の効率化重視の経営方針により、人財育成の失われた10年を迎えることとなりました。

このひずみが2000年代に入り、市場での品質問題として表出したため、2004年度から創業の志に原点回帰する全社活動を開始、「未然防止型ものづくり」への変革を推進してきています。未だ道半ばではありますがこの取り組みを紹介します。



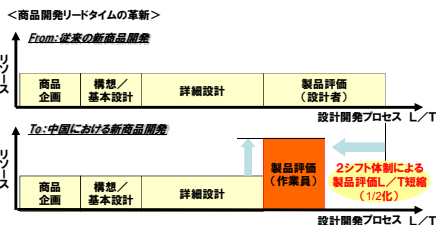
#### B- グローバル開発・設計革新セッション

### 中国における研究開発拠点の課題

オムロン(上海)有限公司  
副総経理 井上 忠 氏

海外への生産シフトが加速されている中、R&D拠点と海外生産拠点の密接な連携が課題となっています。大きくは、日本R&D+現地生産、現地R&D+現地生産の2パターンがありますが、それぞれにメリット/デメリットがあります。当社では2000年ごろから中国生産、中国開発を開始し、2011年末時点で、開設当初の10倍規模のR&D拠点到成長しています。

本セッションでは中国を中心としたR&D拠点の取り組み事例と課題を紹介させていただき、ご参加の皆様と議論をさせていただきますと思います。



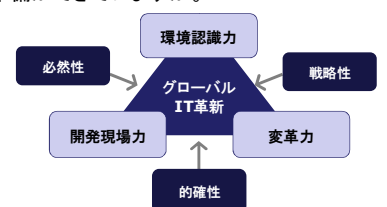
#### B- 複雑化時代における開発革新セッション

### 空洞化を生き抜くためのIT活用術

日本オラクル株式会社 アプリケーション事業統括本部  
ディレクター PLMソリューションズスペシャリスト 神 敬二 氏

日本企業のグローバル化や日本国内の生産拠点の空洞化が進む中で、製造業は構造転換期を迎えています。もはや、製品の性能・品質は競争の中心テーマではなくなりました。このような状況に、製造業の各社で活躍する研究者・設計者はいかに対応するべきでしょうか。身に染み付いた常識と闘う準備ができていますか。

PLM(製品ライフサイクル管理)導入に伴う業務改革プロジェクトの成功・失敗経験から、ITを味方につけパラダイムシフトの波を軽やかに乗り越えるためのヒントを提供いたします。



#### C- 組織・人材革新セッション①

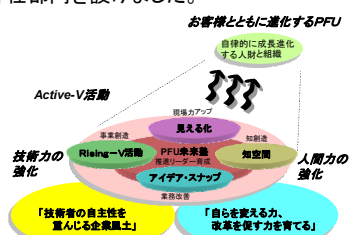
### 自律成長型組織を目指して

株式会社 PFU ニュービジネス推進統括部  
Active-V推進室 室長 石黒 渉 氏

「自律成長型組織」の構築は、変化に対応できる強い組織を作っていくための各社共通の必須課題です。

PFUでは、人と組織活性化を最重要マネジメント課題の一つと位置付け「Active-V推進室」という専任部門を設けました。

本セッションでは当推進室が試行錯誤しながら展開してきた実践事例とそのポイント、実践を通じて得られたPFUならではのマネジメント体系、さらに変革スタッフの立場での苦労と努力についてご紹介します。



#### C- 組織・人材革新セッション②

### 分析会社の生産性向上を目指した組織力強化

株式会社 日東分析センター  
取締役 管理部長 山村 隆 氏

受託分析業務は圧倒的に「人」に頼るところが大きく、生産性向上のためには、従業員のベクトルを合わせ、モチベーションを高めることが必須になります。これまでの個人のスキルに依存した個人商店的な仕事の進め方から脱却すべく、現場・経営が一体となった組織力強化活動『わくわくWork』に取り組み、一体感のある強い会社として、生産性向上に邁進しています。

その組織力強化に向けた各種アプローチについてご紹介します。



参加方法 下記URLまたはFAXでお申し込みください

http://www.jmac.co.jp/service/event/

FAX. 03-3434-2963

参加料／21,000円(資料・昼食・交流会・消費税込み)

定員／300名(お申込み順)

■参加申込方法

- 参加希望の方は、インターネットもしくは下記申込書にご記入の上、FAXにてお送りください。
- お申込み順にて受付、後日参加証・請求書をお送りします。

■ご注意

- 定員になり次第締切とさせていただきます。
- FAXでのお申込みは、開催日の3日前まで受付いたします。
- 同業者はお断わりする場合がございます。
- 諸事情により開催を中止させていただく場合がございますので予めご了承ください。
- ご案内のご送付先変更・中止などのご希望の方は、お手数ですがご希望内容記載の上、メール、FAXにて本大会事務局までご連絡くださいようお願い申し上げます。

■お支払いについて

- 参加料は請求書到着後1週間以内に請求書の銀行口座へお振り込みください。(振り込み手数料は貴社でご負担願います。)

■キャンセル規定

- 参加者のご都合が悪い場合は、代理の方の出席をお願いいたします。
- 代理の方もご都合が悪い場合は開催日の前々日(土/日/祝日を除く)までに以下問合せ先までご連絡ください。
- 開催日の前々日(土/日/祝日を除く)までに参加者ご本人や代理出席の方の欠席のご連絡をいただきました場合のみ、入金確認後、振り込み手数料を差し引いた残額を返金させていただきます。
- 開催日前日(土/日/祝日を除く)や開催当日に欠席のご連絡をいただきました場合は、ご返金できませんので、予めご了承ください。

第16回 開発・技術マネジメント革新大会 申込書

参加証・請求書のご送付方法はどちらを希望されますか。

E-Mail希望

郵送希望

PDF形式のファイルとなります。

貴社名・事業所名(フリガナ)

業種

- 1.食料品
- 2.繊維製品
- 3.パルプ・紙
- 4.化学
- 5.医療品
- 6.石油・石炭製品
- 7.ゴム・窯業
- 8.鉄鋼・非鉄金属・金属製品
- 9.機械
- 10.電気機器
- 11.輸送用機器
- 12.精密機器
- 13.その他製造業
- 14.電気・ガス業
- 15.運輸・通信業
- 16.卸売業
- 17.小売業
- 18.金融・保険業
- 19.建設・不動産業
- 20.サービス業
- 21.公共
- 22.その他

ご住所(フリガナ) 〒

▼午後の参加希望セッション(午後部、午後部)を選択して下さい

参加責任者

氏名(フリガナ) \_\_\_\_\_

部署名 \_\_\_\_\_

役職名 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

参加希望)各1つ選択してください

午後部	<input type="checkbox"/> A-	午後部	<input type="checkbox"/> A-
	<input type="checkbox"/> B-		<input type="checkbox"/> B-
	<input type="checkbox"/> C-		<input type="checkbox"/> C-

参加者①

氏名(フリガナ) \_\_\_\_\_

部署名 \_\_\_\_\_

役職名 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

参加希望)各1つ選択してください

午後部	<input type="checkbox"/> A-	午後部	<input type="checkbox"/> A-
	<input type="checkbox"/> B-		<input type="checkbox"/> B-
	<input type="checkbox"/> C-		<input type="checkbox"/> C-

参加者②

氏名(フリガナ) \_\_\_\_\_

部署名 \_\_\_\_\_

役職名 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

参加希望)各1つ選択してください

午後部	<input type="checkbox"/> A-	午後部	<input type="checkbox"/> A-
	<input type="checkbox"/> B-		<input type="checkbox"/> B-
	<input type="checkbox"/> C-		<input type="checkbox"/> C-

印の方宛てに参加証・請求書をまとめてご送付します。(不都合がある場合は、備考欄にご記入ください。)

備考:

- 本個人情報は、弊社事業活動におけるセミナー、イベント、アンケートのお願いなどに活用させていただくことがあります。
- 弊社は、収集した個人情報を適切に取り扱い、第三者への提供は行いません。
- 本情報の訂正、削除などをご希望される場合には、お問合せ先「第16回 開発・技術マネジメント革新大会事務局」までご連絡ください。

問い合わせ先 株式会社日本能率協会コンサルティング 第16回 開発・技術マネジメント革新大会事務局

TEL : 03-3434-0063 FAX : 03-3434-2963 E-mail : event\_consult@jmac.co.jp